

昭和二十四年六月一日運輸省特別扱承査雑誌第四五三號
昭和三十三年十二月二十日發行(毎月一回)表目

哲學研究

第三十九卷 第十二册

第四百五十八號

昭和三十三年十二月二十日發行

時間と自由……………島 芳 夫

學としての形而上學は可能か……………阿 部 正 雄

—カント「純粹理性批判」の窮極課題—

カントの感情について……………大 塚 恵 一

—「道徳性」の意味内容—

偶然への問い……………小 林 幹 夫

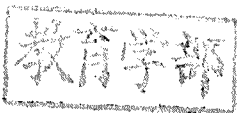
—偶然性の學としての形成を中心として—

書評 鈴木亨君の「實存と労働」を讀んで……………島 芳 夫

第三十九卷總目次

京 都 大 學 文 學 部 内

京 都 哲 學 會



- (24) Kolmogoroff, *ibid.* S. 13.
 (25) Kolmogoroff, *ibid.* S. 15.
 (26) Kolmogoroff, *ibid.* S. 16. 又 cf. Carnathodory ; Vorlesung über reelle Funktionen, 1918. S.237 ~ S.298. 及び 高木貞次、解析概論、四八九頁參照
 (27) Kolmogoroff, *ibid.* S. 16.
 (28) Vgl. R. v. Mises, Wahrscheinlichkeit Statistik und Wahrheit, S. 22.
 (29) cf. John Venn ; Logic of chance. (1888)
 (30) F. H. Bradley, Principles of Logic (1883) p. 214 以下 註 p. 219 以下
 (31) Mises, Wahrscheinlichkeit Statistik und Wahrheit, S. 29.
 (32) Mises, Wahrscheinlichkeitsrechnung, 1931. S. 27ff.
 (33) Mises, Wahrscheinlichkeit Statistik und Wahrheit, S. 33.
 (34) cf. J. L. Doob, Note on Probability. Ann. of Math. 37. (1936), \times cf. Dörge. Math. Zeitschr. 32. 1930. 及び Wald, Die Widerspruchsfreiheit der Kollektivbegriffs. Actuales scientifiques, 735, 1938.
 (35) Mises, *ibid.* S. 170.
 (36) vgl. Mises, *ibid.* S. 3ff. und S. 178 ff. S. 199ff.
 (37) J. Venn, *ibid.* chap. XII. consequence of foregoing distinction p. 278. 以下

- (38) Mises, *ibid.* S. 170.
 (39) Mises, *ibid.* S. 59.
 (40) Vgl. Mises, *ibid.* S. 60.
 (41) 九鬼周造「偶然性の問題」二六七頁、二六八頁、又 Vgl. F. Brentano, Psychologie vom empirischen Standpunkte, hrsg. v. Kraus, II. S. 225. Oskar Becker, Zur Logik der Modalitäten, Jahrbuch f. Philos. u. Päd. F. XI. S. 539. (筆者 京都大學文學部〔哲學〕大學院學生)

目 次

形はなぜ在るか……………	植田 諱 藏
サインキヤ哲學における認識について……………	松 尾 義 海
ドイツ觀念論の歴史哲學に於ける終末論的基礎……………	エハムスト・スハント 鹽 谷 鏡 譯
アペラールの普遍論……………	横 山 哲 夫

新著外國雜誌所載論文一覽

に對立的でないという確信は尊重されるべきであり、又それを支持する哲學者も多くいる。然し何よりも自分自身の眼でこの問題に立向う必要がある。私の考えでは、この兩者の關係は危機的革命的人間といういささか未分析で曖昧な言葉によつて結びつけられている感じがある。異なる傳統の下に育つて來た思想を、或る情勢の下での共通性の故に綜合するということはややもすれば皮相になり易い。著者の勞働と實存主義との媒介は或る程度成功している。第十章「實存としての所有と勞働」は明快で中々深く切り込んでゐる。然し勞働問題を通して實存概念を展開するやり方——謂わばプロレタリア實存主義——は十分共鳴出来るアプローチであるが、しかし實存概念としての所有は遙かに廣い適用を有することは指摘するまでもない。マルクス主義と基督教的實存主義との綜合の如きは、何れかの立場に大きな變更を加えないでは不可能と思われるが、従つてその結果生れるものは綜合であるよりも、何れかの立場への吸收と思われるが、この困難な問題を取扱つたのが第九章「實存的思惟の展開」である。然しマルクスには無自覺的にせよ信仰の存在する餘地があるとは、その信仰の概念をもつと明かに規定せねば私には理解出来ないことである。

然し著者は若い。この意氣込みと探究力とを以てすれば、更に一層高い成果を擧げ得るだろうことを確信する。

(了)

(筆者 京部大學文學部「倫理學」教授)

次 號 論 文 豫 告

存在論的證明……………

チャールズ・ハーツホーン

——また論破されていない四つの形式——

野田 又夫譯

時と永遠……………

武藤 一雄

——聖書的時間論についての一考察——

カントにおける「直観」について

……… 観 山 雪 陽

第九回國際宗敎學敎史會議について…………… 有賀 熾 太郎

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、二二〇圓又は半年六一〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番創文社）宛に願ひます
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、（一年分又は半年分）

會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十三年十二月十五日印刷
昭和三十三年十二月二十日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

土 岐 邦 夫

發 行 人

久 保 井 理 津 男

印 刷 人

堀 内 文 治 郎

印 刷 所

堀 内 印 刷 所
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 丁 一 六

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 九 ノ 内 (23) 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一
二〇圓、送料・八圓）前金にてお送り下さい

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXIX

December, 1958

No. 12

Time and FreedomYoshio Shima

Whether is Metaphysics as "Wissenschaft" possible? (I)

— *The Ultimate Problem of Kant's Critique of Pure Reason* —

.....Masao Abe

On Feeling in Kant

— *The Significance of 'Morality'* —Kei-ichi Otsuka

La question du hasard.....Mikio Kobayashi

Book Review:

Tōru Suzuki, "Existence and Labour".....Yoshio Shima

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan